

# FUJIFILM NEWS

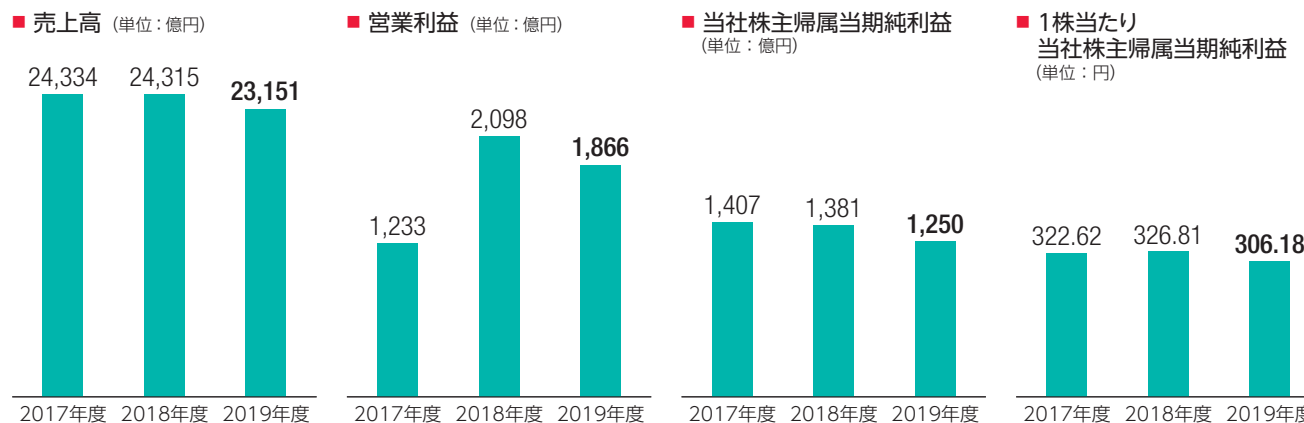
Vol.102

株 主 通 信

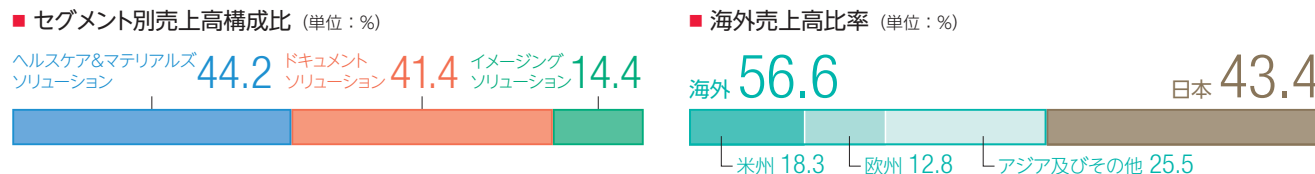
## 2019年度 決算ハイライト

### 2019年度決算のポイント

|       |                                                                                                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 今年度業績 | 売上高は前年比▲4.8%の減収、営業利益は前年比▲11.1%の減益<br>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行拡大により、売上高で▲1.9%、<br>営業利益で▲12.3%の影響を受けた。                                                                       |
| 事業別業績 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケアは、メディカルシステムやバイオCDMO、再生医療がけん引し増収。</li> <li>ドキュメントは、収益性の改善と構造改革効果により増益。</li> <li>イメージングは、減収減益。COVID-19の流行拡大の影響を大きく受けた。</li> </ul> |



※2017年度の営業利益については、米国会計基準の変更に伴い、期間年金費用及び期間退職後給付費用の表示区分の変更を遡及適用しています。



詳細な財務情報は、当社ウェブサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

アドレスはこちら > <https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>

# 株主の皆様へ

## 富士フィルムグループとしての力を最大限生かし さらなる前進を

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患された方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。そして、この機会に際して最前線で治療に当たられている医療従事者の方々をはじめ、人々の健康や生活を支える多くの皆様に、心より敬意を表します。

当社の2019年度の業績は、為替の円高影響と新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け、売上高2兆3,151億円（前年同期比4.8%減）、営業利益1,866億円（前年同期比11.1%減）となりました。2019年度の配当金は、10期連続増配となる15円増配の1株当たり95円といたしました。

新型コロナウイルス感染症流行抑止に貢献するため、当社はグループの総力をあげて取り組んでいます。富士フィルム富山化学が開発した抗インフルエンザ治療薬「アビガン錠」について、日米で新型コロナウイルス感染症患者を対象とした企業治験を実施するとともに、国内外からの提供要請に応えるべく増産を進めています。メディカルシステム事業では、肺炎診断に用いられる回診用X線撮影装置や超音波

画像診断装置を供給し、その安定的な稼働をサポートしています。当社グループの富士フィルム和光純薬は、PCR検査時間の大幅な短縮を実現する、新型コロナウイルス用遺伝子検出キットや全自動遺伝子解析装置「ミュータスワークス g1」で使用する遺伝子検出試薬を迅速に開発し発売しました。

また、バイオCDMO事業では、世界最大の慈善基金団体であるビル&メリンダ・ゲイツ財団らが立ち上げた新型コロナウイルス感染症治療推進プロジェクト「COVID-19 Therapeutics Accelerator」より、彼らが開発を支援する治療薬のプロセス開発・製造を受託しています。

当社は、総合ヘルスケア企業として、その社会的責任を果たすため、新型コロナウイルス感染症流行の終息に最大限の努力をしていきます。

当社は、独自の技術を活用した競争優位性のある製品・サービスの提供に加え、事業の成長を加速させる効果的な投資を行い、持続的な成長と企業価値の向上を図っています。

2019年12月に、約1,500億円の売上規模を持つ日立製作所の画像診断関連事業の買収を決定。メディカルシステム事業の製品ラインアップを拡充し、同社の持つCT、MRIなどの大型画像診断装置に当社



代表取締役会長・CEO

代表取締役社長・COO

古森重隆

助野健児

の優れた画像処理技術、AI・IT技術を組み合わせて付加価値の高いソリューションを提供することでグローバル展開に拍車をかけます。

同年11月には米国ゼロックスコーポレーションの持ち分であった25%の株式を取得し、富士ゼロックスを100%子会社化しました。富士ゼロックスは、2021年4月から社名を「富士フィルム ビジネスイノベーション」に変更し、ドキュメント分野でFUJIFILMブランドの製品を世界に販売していきます。

新型コロナウイルス感染症により世界経済の先行きは不透明ですが、当社は常に新たな価値を持つ製品・サービスを開発・提供し、力強い事業成長に向けて前進していきます。そして、富士フィルムホールディングス傘下の全ての組織・従業員の力を結集した“All-Fujifilm”で、持続可能な社会の発展に貢献します。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年6月

# 富士フィルムグループトピックス

## 富士ゼロックスは「富士フィルム ビジネス イノベーション」に生まれ変わり新たな成長ステージへ

TOPICS 1

富士フィルムホールディングスは、米国ゼロックスコーポレーション（以下、米ゼロックス）の持ち分であった25%の富士ゼロックス株式を取得し、富士ゼロックスを100%子会社化しました。これによって57年間にわたる米ゼロックスとのジョイントベンチャーの関係は終わりますが、新たな協業の枠組みのもとで米ゼロックスへの中長期的な製品供給は継続し、パートナーとしての関係を維持していきます。

富士ゼロックスは、米ゼロックスとの間で技術/ブランドライセンスや販売テリトリーなどを規定していた契約を2021年3月31日の満了日をもって終了し、2021年4月1日付で「富士フィルム ビジネス イノベーション」に社名変更します。新社名には、事業領域のさらなる拡大を目指すうえで「富士フィルムグループの企業として、常にビジネスに革新をもたらす存在であり続ける」という決意を込めています。今後は「FUJIFILM」ブランドの製品を世界に販売していきます。

### 新社名(2021年4月1日付)

富士フィルム ビジネス イノベーション株式会社  
FUJIFILM Business Innovation Corp.

さらに、ドキュメントにとらわれず富士フィルムグループ内のシナジーを活かして、新たな領域へも進出します。富士フィルムの画像処理技術と富士ゼロックスの自然言語処理技術を組み合わせ、医療の診断レポート作成に活かすなど、新しい価値を提供していきます。さらなる成長の実現に向けて施策を進めていきますので、ご期待ください。

## ヘルスケア領域の事業成長を一段と加速 日立製作所の「画像診断関連事業」買収を発表

TOPICS 2

富士フィルムはヘルスケア領域のさらなる事業拡大に向けて2019年12月、日立製作所の画像診断関連事業の買収を発表しました。

当社のメディカル事業は1936年のX線フィルム発売以来、長年にわたって画像処理技術を培ってきました。そしてその技術を内視鏡事業や医療IT事業などさまざまな製品に活用しています。

日立製作所は、1953年にX線撮影装置を製品化して以来、医療の質向上と効率化を実現するソリューションを提供。画像診断システムにおいては、CT、MRI、

超音波診断装置などの幅広い製品ポートフォリオを保有しています。

本買収により、拡充された幅広い製品ラインアップによって、病院への提案力を飛躍的に高めることが可能となります。

また、CT撮影等に富士フィルムの画像処理、AI技術を活用することで、ノイズを除去し、低線量での撮影を可能とするなど新たな価値を生み出します。そして、相互の販売網を活用しグローバル化を加速していきます。

| 領域       | 画像診断システム                                                                            |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      |                                                                                      |                                                                                      |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                      | 医療IT                                                                                |                                                                                      | IVD                                                                                  |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 製品分類     | CT                                                                                  | MRI                                                                                 | X線透視装置                                                                              | X線撮影装置                                                                               | マンモ                                                                                  | 回診車                                                                                  | DR/CR                                                                               | 骨密度測定                                                                               | 超音波                                                                                 | 内視鏡                                                                                  | EMR/HIS                                                                             | PACS                                                                                 |                                                                                      |
| HITACHI  |  |  |  |   |                                                                                      |   |                                                                                     |  |  |                                                                                      |  |                                                                                      |                                                                                      |
| FUJIFILM |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     |  |  |  |  |                                                                                     |  |  |                                                                                     |  |  |

## 富士フィルムホールディングス「CDP気候変動Aリスト」に認定

TOPICS 3

富士フィルムホールディングスは、気候変動対策に関して国際的に影響力のある企業調査で、最高評価の「CDP気候変動Aリスト」に初めて認定されました。CDPは、全世界の資産総額96兆米ドルを有する機関投資家を代表して企業の気候変動対策を調査しており、本認定を受けたのは調査対象の全8,000社以上のうち全世界で179社、日本で38社です。今後も環境に配慮した製品の開発・供給やCO<sub>2</sub>排出削減などを推進し、気候変動の問題の解決に積極的に取り組みながら、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



# セグメント別概況

## ヘルスケア&マテリアルズ ソリューション

### <事業(ヘルスケア)>

メディカルシステム、バイオCDMO、医薬品、再生医療、ライフサイエンス

医用画像  
情報システム  
[SYNAPSE]



### <事業(高機能材料等)>

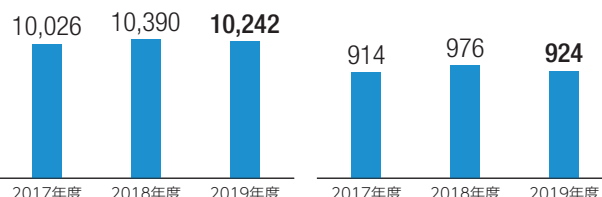
ディスプレイ材料、産業機材、電子材料、ファインケミカル、記録メディア、グラフィックシステム・インクジェット

■ 売上高 (単位: 億円)

1兆242億円  
(前年同期比1.4%減)

■ 営業利益 (単位: 億円)

924億円  
(前年同期比5.3%減)



### 業績概要

- ・メディカルシステムでは、医療IT、内視鏡、体外診断などの分野で販売が堅調に推移。
- ・バイオCDMOでは、バイオ医薬品のプロセス開発受託、及び製造受託が好調に推移。
- ・医薬品では、2020年2月より、リボソーム製剤専用の新工場が稼働を開始し、開発・製造受託サービスをスタート。
- ・COVID-19患者を対象としたアビガン®錠の企業治験を開始。
- ・電子材料では、CMPスラリーなどの販売が引き続き堅調に推移。
- ・記録メディアは、高容量データストレージ用磁気テープ製品の販売が好調に推移。

### 今後の取り組み

- ・メディカルシステムでは、医療IT領域でAI技術の活用によるソリューション提案を強化。
- ・バイオCDMOでは、最先端医療の遺伝子治療薬のプロセス開発受託、製造受託に参入。
- ・高機能材料領域の各事業は、独自の技術力を生かし現在の競争優位性を維持し、市場のニーズにあった高収益の製品をタイムリーに投入。

## ドキュメント ソリューション

### <事業>

オフィスプロダクト&プリンター、プロダクションサービス、ソリューション&サービス



多彩な特殊色を1枚から出力できる  
高速カラーデジタル印刷機  
[Iridesse™ Production Press]

■ 売上高 (単位: 億円)

9,583億円  
(前年同期比4.7%減)

■ 営業利益 (単位: 億円)

1,050億円  
(前年同期比9.0%増)



### 業績概要

- ・オフィスプロダクト&プリンターは、欧米向け輸出と中国での販売が減少。国内では、堅牢なセキュリティ環境を実現するカラー複合機のフラッグシップモデル「ApeosPort-VIIC」シリーズの販売が堅調に推移。
- ・プロダクションサービスでは、「Iridesse™ Production Press」を中心に全体の販売台数が増加。
- ・ソリューション&サービスでは、国内でオフィスIT環境の構築・運用などを一括してサポートするサービスが伸長。
- ・営業利益は業務改革による収益性の改善などにより増益。

### 今後の取り組み

- ・セキュリティ機能を強化したカラー複合機ApeosPort/DocuCentreシリーズを核に、日本・中国をはじめとするアジア・オセアニア地域でシェアを拡大。
- ・プロダクションサービスは、富士フイルムのグラフィックシステムとのシナジー最大化でグローバル市場を攻略。
- ・お客様の働き方改革の鍵となる、ドキュメント・業務プロセスのデジタル化を促進するソリューション&サービスへのシフトを加速。

## イメージング ソリューション

### <事業>

フォトイメージング、電子映像・光学デバイス



ミラーレスデジタルカメラ  
[FUJIFILM X-Pro3]



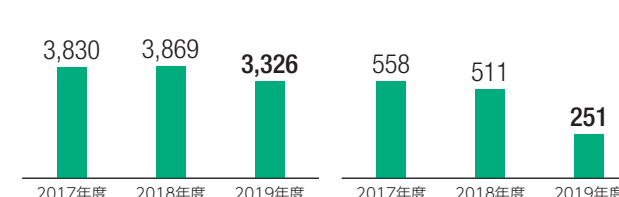
音まで撮れる  
インスタントカメラ  
[Instax mini LiPlay]

■ 売上高 (単位: 億円)

3,326億円  
(前年同期比14.0%減)

■ 営業利益 (単位: 億円)

251億円  
(前年同期比51.0%減)



### 業績概要

- ・COVID-19の流行拡大の影響を受け、工場の操業率低下や小売店休業などにより製品販売が減少。
- ・フォトイメージングでは、カラーペーパーの販売減に加えて、インスタントフォトシステムinstax「チェキ」の上期の在庫調整などで売上減となったが、クリスマスシーズンの販売は前年より増加。
- ・電子映像では、市場環境が厳しく、主にミラーレスのエントリーモデルの売上が減少したが、「FUJIFILM X-Pro3」などの販売が堅調に推移。
- ・光学デバイスでは、主に中国景気減速による車載用など各種産業用レンズの需要減の影響を受けて売上は減少。

### 今後の取り組み

- ・フォトイメージングでは、“アナログからデジタルまで”幅広い分野において多様化するお客様のニーズにお応えし、より良い製品・サービスを提供。
- ・光学・電子映像では、ミラーレスカメラや交換レンズの新製品拡販、プロジェクターやレンズ一体型の遠望監視カメラなど、事業成長に向けた新製品の展開を強化。

※2017年度の営業利益については、米国会計基準の変更に伴い、期間年金費用及び期間退職後給付費用の表示区分の変更を遡及適用しています。



# 新製品NEWS

## Imaging Solutions



### インスタントカメラ“チェキ” インスタックス ミニ イレブン [instax mini 11]新発売

世界中で人気のinstax “チェキ” が、スタイリッシュに生まれ変わりました。新発売のinstax “チェキ” は、シンプルな操作ながら、高品質なプリントを実現する新たな機能を搭載しています。

シャッターを押すだけでカメラが自動で周囲の明るさを感知し、撮影シーンに合わせて最適なシャッタースピードやフラッシュ光量を調整する「オート露光機能」を搭載。晴天の屋外など明るい場所から、レストランやパーティー会場など屋内の暗い場所まで、さまざまなシーンで被写体と背景を適切な明るさに調整します。また、電源を入れた後、レンズ先端部を一段引き出すだけで、セルフイー撮影や接写に最適な「セルフイーモード」に変更可能。より簡単な操作で、高品質なチェキプリントがその場で手にできます。

## Imaging Solutions

### フジフイルム エクスティーフオー ミラーレスデジタルカメラ[FUJIFILM X-T4]新発売

独自の色再現技術による卓越した画質と小型軽量を実現する「Xシリーズ」に、新モデルが登場しました。新開発のフォーカルプレーンシャッターの採用により世界最速\*15コマ/秒の高速連写が可能。また、最短約0.02秒のオートフォーカスを実現し、決定的な瞬間を逃しません。さらに、小型軽量ボディに高性能な手ブレ補正機能も搭載。スポーツなどアクティブな撮影シーンで威力を発揮します。また、色調豊かで滑らかな4K映像を実現する動画撮影機能などにより、快適に高画質な動画を撮影できます。このほか、新開発の大容量バッテリーにより約500枚の連続撮影が可能となり、長時間の撮影ニーズに応えます。



\*APS-C以上のサイズのセンサーを搭載したミラーレスデジタルカメラとして。メカニカルシャッター設定時。2020年2月26日時点。当社調べ。

## Healthcare & Material Solutions

### 「アスタリフト サプリメント ホワイトシールド」 「アスタリフト ドリンク ホワイトシールド」新発売

アスタリフトブランドに「飲む紫外線ケア」として、携帯に便利なサプリメントと常温保存できるドリンクの2つのタイプが新たに登場。紫外線の刺激から肌を保護するのを助け、紫外線を浴びた肌を乾燥から守り、肌の潤いを守る機能性成分「アスタキサンチン」を配合し、紫外線対策をサポートします。



## Document Solutions

### ココデスク 個室型ワークスペース「CocoDesk」を提供開始

富士ゼロックスは、ビジネスパーソンのテレワークを支援する個室型ワークスペース「CocoDesk」を、駅構内やオフィスビルのロビーなどに設置し、シェアオフィスサービス事業を開始しました。「CocoDesk」は机、椅子、電源とUSBコンセント、大型モニターなどを備え、無線LAN接続に対応。スマートフォンを通してWebサイトから予約・利用できます。今後はテレワークを支援するその他のサービスも拡充し、ビジネスパーソンの生産性向上と多様な働き方を可能にする社会インフラの構築を目指します。



# 医療AI技術で医師の画像診断業務を支援

当社は、ヘルスケア領域を成長領域と位置付け、重点的に経営資源を投入し、事業成長を加速させています。このシリーズでは、株主の皆様にご紹介する当社のヘルスケア領域における強みや今後の成長性を広くご理解いただくため、具体的な取り組みをご紹介します。

第5回は、医師の負担を軽減し、医療現場の課題を解決する「医療AI技術\*」をご紹介します。

\*AI技術の1つであるディープラーニング（データをもとに、コンピュータ自らが判断に必要な特徴を自動で抽出して学ぶ機械学習方法）を設計に使用するものであり、導入後に自動的にシステムの性能や精度が変化することはありません。



# REILI

## 医療現場の課題

### 画像診断医の増大する負担を軽減

日本は諸外国と比べ、人口に対するCTやMRIの導入数が多く、画像診断装置の導入状況は充実しています。一方で装置数に対して画像診断医の人数は少ないのが実情です。画像診断医は、検査画像から病変を検出・分類して、診断したうえで読影レポートの作成を行います。さらに緊急性の高い疾患が見つかった場合、迅速に担当医へ連絡を行わなければならないなど、その作業負担には大きいものがあります。

近年、高性能な画像診断装置の普及によって撮影時間が短縮され、撮影できる範囲が拡大し、医師が画像を精査する「読影」の範囲も広がっています。さらに、画像の高精細化により、ごく小さな病変も画像としてとらえられるようになり、医師は従来以上に細心の注意を払いながら画像診断にあたっています。

また、患者の高齢化に伴う画像検査数の増加で、医師一人あたりが診断する画像数が増えており、医師の負担がさらに重くなっています。こうした中で求められているのが画像診断の質の維持や効率化を支援するAI技術を活用したソリューションです。

## 課題を解決する富士フイルムの医療AI技術

### 膨大なデータから診断に活用できる情報を抽出する AI技術により画像診断を支援

富士フイルムの医用画像診断分野では、画像データから診断に活用できる情報を抽出する技術の開発と高度化に取り組んでいます。画像データを読み解く「知恵」こそが、富士フイルムのAI技術のコアです。

富士フイルムグループは、医用画像診断分野で活用できるAI技術を2018年4月から「REILI（レイリ）」というブランドで展開しています。「REILI」では、①疾患の有無や個人差などに左右されずに、全身の各臓器を正確に認識する「臓器認識」、②がん病変などを臓器や疾患別に検出・計測し、見逃しリスクの低減につなげる「病変の検出及び鑑別」、③読影レポートに記載する所見文の候補を生成し、医師の参考のために過去の類似症例の画像を提示する「レポート作成支援」という3つの技術アプローチを推進しています。

これにより、検査／可視化／検出／分類／レポート作成という従来の画像診断医の業務のうち、検出／分類を①②で半自動化し、③でレポート作成をサポートできると期待されています。

医用画像診断の業務全体を効率的に支援することで、負担軽減と医師の時間の創出を目指しています。

### AI技術を活用して画像診断業務における医師の負担を軽減



\*画像診断においては、医師による最終判断が必要

## 富士フイルムの「医療AI技術」における強みと実用化に向けた取り組み

## これまで育んできた画像解析技術・ノウハウを生かして開発したAI技術を医療現場に活用

## 画像管理や画像解析の技術・ノウハウ

AI技術はディープラーニングを通じてその精度を高め、さらに進化していきます。その際、ディープラーニングに不可欠なのが大量の良質なデータとそれを扱うための画像管理や画像解析の技術・ノウハウです。

富士フイルムグループは病院内にある画像データを管理・保管するPACS※1「SYNAPSE（シナプス）」シリーズをワールドワイドに展開しています。1999年の発売以来、世界中の医療機関から高い評価を受ける「SYNAPSE」の導入施設数は国内約2,700施設、全世界約5,500施設※2で、国内、全世界ともにトップシェアです。「SYNAPSE」の20年以上にわたる実績を通じて培ってきた画像管理や画像解析の技術・ノウハウがAI技術の開発に活用されています。

また、「データの質」も重要です。1934年に写真フィルムの製造から事業をスタートさせた富士フイルムには、高度な画像処理技術やノウハウに加え、国内外の医療・研究機関との共同研究等を通じて培ってきた医用画像処理・解析の豊富な経験と知見があります。AI技術開発に適したデータを選定して、効果的に学習させることで、精度向上や有用なAI技術開発ができる体制を整えています。

## 医療現場での活用「SYNAPSE SAI viewer」

2019年7月にはAI技術を活用し、経験豊富な医師の知見を学習させて開発した画像診断支援機能を搭載するAIプラットフォーム「SYNAPSE SAI viewer（シナプス サイ ビューワ）」を発売しました。

「CT画像から臓器を自動で抽出する」、「骨の経時変化を可視化する」などの機能を提供しています。

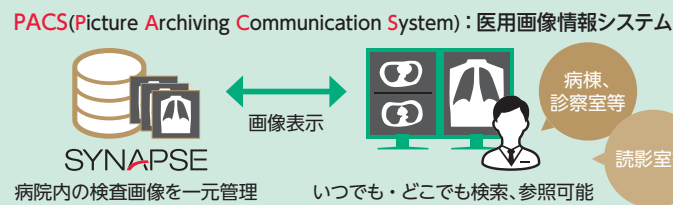
既に大学病院を中心に国内数十施設で導入され、医療現場での活用が始まっています。さらに、2020年6月には新バージョンの発売とともに、肺がんを診断するための「胸部CT画像から肺結節候補を検出する」機能の提供を開始しました。今後も、画像診断における質の向上・効率化への貢献を続けていきます。

※1 Picture Archiving Communication System

※2 2020年1月時点。当社調べ。

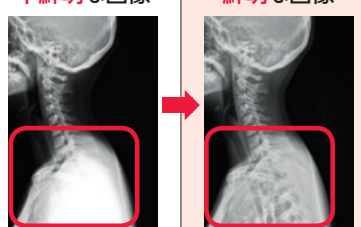
## 病院内にある画像データを保管・管理するPACS

## X線/CT/MRIなど様々な機器で撮影



## 当社画像処理技術を活用した画像の質の改善例

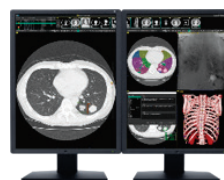
## 不鮮明な画像 鮮明な画像



左側の画像：横から撮影した場合、頭部と肩部では厚みが違うため、X線が肩部の骨に当たった時に散乱し、全体に白っぽく映っています。

右側の画像：当社の画像処理を施したもの。撮影部位を認識して、それぞれの部位ごとに、適切なコントラストになるように調整して骨の形状等を見やすくしています。

## AIプラットフォーム「SYNAPSE SAI viewer」



SYNAPSE SAI viewer powered by REiLi

「SYNAPSE SAI viewer」は以下の医療機器を含む製品の総称です。  
SYNAPSE SAI viewer用画像表示プログラム  
販売名：画像診断ワークステーション用プログラム FS-V686型  
認証番号：231ABBZX00028000  
SYNAPSE SAI viewer用画像処理プログラム  
販売名：画像処理プログラム FS-AI683型  
認証番号：231ABBZX00029000  
SYNAPSE SAI viewer用肺結節検出プログラム  
販売名：肺結節検出プログラム FS-AI688型  
承認番号：30200BZX00150000

医療AI技術の  
今後の展開

富士フイルムグループの医療AI技術は、画像診断医の診断業務の一部を半自動化し、その負荷を軽減することで、医師が患者とじっくり向き合うことができる時間を創出することを目指しています。また、画像診断における読影の支援により病変の見落としリスクの低減に貢献し、疾病の早期発見・早期治療を促進します。さらに、先輩医師の知見を学習し、精度を高めてきたAI技術によって、その知見が次の世代に継承され、若手医師の教育・育成や負荷軽減にも寄与すると考えています。

また、国内外の医療・研究機関との共同研究・開発のほか、優れた技術を有するAIベンダーとのパートナーシップなどを通じて、医療AI技術の開発・高度化を加速します。

富士フイルムグループは、誰もが高品質な医療サービスを受けられる社会の実現を目指し、さまざまな医療課題の解決に貢献していきます。

医療AI技術の  
開発、活用、  
展開を加速し、  
医療課題の解決に  
貢献する



# 投資家インフォメーション

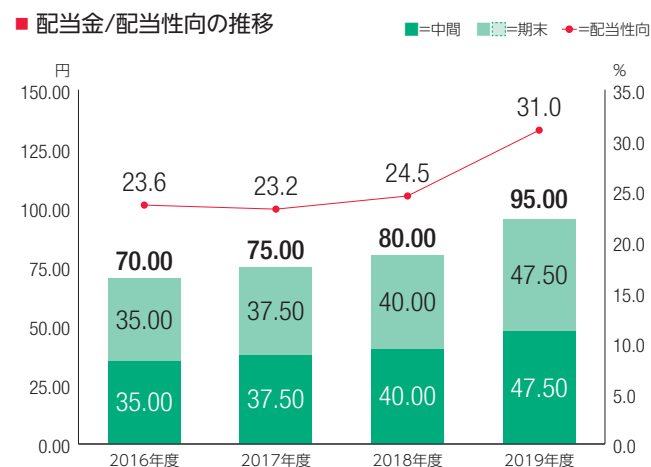
## 第124回定時株主総会の決議結果について

2020年6月26日開催の当社株主総会において報告及び決議された内容につきましては、当社ウェブサイト (<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/stock-and-shareholder/shareholders-meeting.html>) に掲載していますので、ご参照ください。

### 株式データ

|                    |               |
|--------------------|---------------|
| 株価<br>5,439円       | 単元株式数<br>100株 |
| 必要投資金額<br>543,900円 | 証券コード<br>4901 |
| PER<br>17.8倍       | PBR<br>1.11倍  |

※2020年3月31日終値をもとにしています。



### 会社概要 (2020年3月31日現在)

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社  
設 立 1934年1月20日  
資 本 金 40,363百万円  
本 社 東京都港区赤坂9丁目7番3号  
連結従業員数 73,906名

### メール配信サービスのご案内

当社の最新情報を電子メールで配信するサービスです。ぜひご登録ください。

ご登録はこちらから >>>

<https://www.magicalir.net/4901/mail/index.php>



**FUJIFILM**



## 株主優待のご案内

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に保有していただくことを目的とした株主優待制度をご案内します。

### 7月実施 (基準日:2020年3月31日)

- 単元株(100株)以上保有の株主様  
当社ヘルスケア製品優待価格販売(お申し込み制)
- 1年以上、単元株(100株)以上保有の株主様  
当社ヘルスケアトライアルキット及びヘルスケア製品(計2,000~3,000円相当)プレゼント(お申し込み制)
- 3年以上、300株以上500株未満保有の株主様  
当社ヘルスケア製品(4,000~5,000円相当)プレゼント(お申し込み制)
- 3年以上、500株以上保有の株主様  
当社ヘルスケア製品(9,000~10,000円相当)プレゼント(お申し込み制)



### 12月実施 (基準日:2020年9月30日)

- 単元株(100株)以上保有の株主様  
当社ヘルスケア製品  
優待価格販売(お申し込み制)
- 1年以上、単元株(100株)以上保有の株主様  
当社フォトブック等プリントサービス  
利用クーポン券(1,000円分)プレゼント
- 3年以上、500株以上保有の株主様  
当社フォトブック等プリントサービス  
利用クーポン券(4,000円分)プレゼント



\* なお、対象製品やお申し込み期限など、詳細は別途ご案内を差し上げます。  
\* 1年以上あるいは3年以上保有の株主様とは、基準日現在の株主名簿上で、当初取得日が1年前あるいは3年前の同日以前の方です。  
\* プリントサービス利用クーポン券は、1,000円分と4,000円分のいずれかのクーポン券(株主優待専用ウェブサイトからのお申し込みに関し限り使用可能)をお送りします。  
\* 写真は製品の一例です。